



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社
 コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 多一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田村 裕保
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3278-4333

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	77,555	8.5	11,472	5.9	13,150	2.9	8,144	6.7
27年3月期第3四半期	71,448	0.1	10,830	△5.5	12,779	△4.3	7,637	△2.8

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 5,132百万円 (△62.1%) 27年3月期第3四半期 13,534百万円 (△9.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	65.69	—
27年3月期第3四半期	61.59	—

(注)当社は、平成27年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	193,078	139,251	60.8	947.08
27年3月期	187,116	136,123	61.1	921.68

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 117,435百万円 27年3月期 114,286百万円

(注)当社は、平成27年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年3月期	—	7.50	—		
28年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成28年3月期(予想)の中間配当金及び期末配当金については、平成27年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行った影響を考慮した金額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	7.3	16,500	11.1	18,500	6.0	10,200	2.3	82.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	132,604,524 株	27年3月期	132,604,524 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	8,607,909 株	27年3月期	8,607,036 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	123,996,946 株	27年3月期3Q	123,993,956 株

(注)当社は、平成27年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料のに記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3.	四半期連結財務諸表	6
	(1) 四半期連結貸借対照表	6
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
	四半期連結損益計算書	8
	四半期連結包括利益計算書	9
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
	（継続企業の前提に関する注記）	10
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10
	（セグメント情報等）	10
4.	補足情報	12
	(1) 四半期毎の業績の推移（連結）	12
	(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	13
	(3) 四半期毎の業績の推移（提出会社個別）	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）における世界経済は、アジアでは中国経済の景気減速が続く、タイ、インドネシアなどが低調に推移するなど厳しい状況が続いております。一方、ようやく金利引上げに動いた米国経済は堅調な需要に支えられ、拡大基調を維持しております。国内経済は、緩やかな回復基調から踊り場に移行した様子もあり、先行き懸念が高まる不安定な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要な供給先であります自動車業界では、国内の自動車生産の底入れはみられるものの依然厳しい状況で推移しております。もう一つの柱である鉄鋼業界も、中国の供給過剰は継続しており、同様に厳しい状況で推移しております。

このような状況において当社グループでは、ユーザーニーズにマッチした高品質、低コスト、環境に優しい技術の提供に努めるとともに、海外需要を着実に捉えるため、米国、メキシコ、中国、タイなどを中心に生産設備を増強しております。また、将来の市場優位性を確保すべく、さらなる新技術の創出を目指し、研究開発活動に注力してまいりました。

当社グループの第3四半期累計期間の連結業績は、**売上高**は77,555百万円と前第3四半期累計期間(以下、前期)に比べ6,106百万円(8.5%)の増収となりました。国内では金属表面処理剤の販売が依然低調に推移するなか、海外では為替の影響もあり全ての事業が増収で推移いたしました。四半期毎の売上高は、第1四半期24,045百万円、第2四半期27,806百万円、第3四半期25,703百万円で推移しております。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前期に比べ薬品事業が1.3%、装置事業が24.7%、加工事業が7.9%、その他が53.9%とそれぞれ増収で推移しております。また、地域別セグメントは、国内が2.9%、アジアが18.5%、欧米が18.8%とそれぞれ増収で推移しており、輸出を含む海外売上比率は43.5%と前期に比べ4.1%増加いたしました。

(セグメントの増減率は外部顧客売上高を基礎にしております。)

営業利益は11,472百万円と前期に比べ641百万円(5.9%)の増益となり、第2四半期累計期間は前年同期に比べ減益でしたが、当第3四半期累計期間において増益に転じました。売上総利益は29,475百万円と1,900百万円(6.9%)の増益となり、**販売費及び一般管理費**は18,003百万円と1,259百万円(7.5%)増加いたしました。この内訳は人件費が7.1%、経費が8.1%それぞれ増加し、主な増加要因には為替変動要因も含まれますが、海外の人件費や減価償却費などの増加によるものであります。

経常利益は13,150百万円と前期に比べ370百万円(2.9%)の増益となりました。**営業外の収支**は1,678百万円の収入となり、前期に比べ△270百万円の減少となりました。主な要因は、受取配当金と持分法による投資利益などが増加した一方で、為替差益から為替差損に転じたことによるものです。この結果、当第3四半期累計期間の**総資産経常利益率**(ROA)は6.9%(年換算9.2%)で推移しております。

親会社株主に帰属する四半期純利益は8,144百万円と前期に比べ507百万円(6.7%)の増益となりました。この結果、当第3四半期累計期間の**自己資本利益率**(ROE)は7.0%(年換算9.3%)で推移しております。なお、当第3四半期累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、過去最高の水準で推移しております。

【連結決算の概況】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期累計期間 (平成28年3月期)	77,555	11,472	13,150	8,144
前第3四半期累計期間 (平成27年3月期)	71,448	10,830	12,779	7,637
増減金額	6,106	641	370	507
増減率	8.5%	5.9%	2.9%	6.7%

【為替の影響額】

当期の為替換算レートは、ユーロなど一部の通貨を除き、概ね円安にシフトしております。損益計算書に与える影響額は、売上高で3,173百万円程度の増収、営業利益で477百万円程度の増益となっております。

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益 (営業利益)			
	前第3四 半期累計	当第3四 半期累計	増減額	増減率	前第3四 半期累計	当第3四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	32,471	32,877	406	1.3%	6,581	6,598	17	0.3%
装置事業	10,439	13,020	2,581	24.7%	213	392	178	83.6%
加工事業	26,662	28,771	2,108	7.9%	4,534	5,194	659	14.6%
その他	1,874	2,885	1,011	53.9%	175	218	43	24.7%
調整額 (消去)	—	—	—	—	△673	△931	△257	—
連結損益計算書計上額	71,448	77,555	6,106	8.5%	10,830	11,472	641	5.9%

第1四半期会計期間より事業セグメントの利益又は損失の測定方法(事業の種類別セグメントにまたがる全社費用の配賦方法)を変更しております。当第3四半期累計期間、前第3四半期累計期間の数値は、変更後の事業セグメントの利益又は損失に基づいております。

① 薬品事業

外部顧客に対する売上高は32,877百万円と前期に比べ406百万円(1.3%)の増収となり、営業利益は6,598百万円と17百万円(0.3%)の増益となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。国内では引き続き減収で推移しておりますが、金属表面処理剤の需要が第2四半期会計期間以降持ち直しを見せるとともに、海外でも円安の影響もあり比較的堅調に推移し、収益面では前期並みとなりました。

② 装置事業

外部顧客に対する売上高は13,020百万円と前期に比べ2,581百万円(24.7%)の増収となり、営業利益は392百万円と178百万円(83.6%)の増益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。第2四半期会計期間に国内で大型設備物件が検収され、また海外でも比較的堅調に推移し、増収増益となりました。

③ 加工事業

外部顧客に対する売上高は28,771百万円と前期に比べ2,108百万円(7.9%)の増収となり、営業利益は5,194百万円と659百万円(14.6%)の増益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。熱処理加工事業については、海外では中国の需要が拡大しておりますが、インドネシアでは自動車生産の減産から厳しい状況が続きました。国内では自動車部品の海外シフトの影響により、低調に推移しております。また、防錆加工事業については、国内外ともに比較的堅調に推移しております。

④ その他

外部顧客に対する売上高は2,885百万円と前期に比べ1,011百万円(53.9%)の増収となり、営業利益は218百万円と43百万円(24.7%)の増益となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを営んでおります。ビルメンテナンス事業が堅調に推移するとともに、ボルト製品の製造・販売を営む連結子会社1社が加わり増収増益となりました。

【投資情報】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間
減価償却費 (有形固定資産)	2,564	3,327
設備投資額 (有形固定資産)	6,621	6,417
研究開発費	1,585	1,604
有利子負債	1,502	3,905

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較し 5,962 百万円増加し 193,078 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では現金及び預金が 3,564 百万円、有価証券が 1,403 百万円増加いたしました。固定資産では有形固定資産が 2,036 百万円増加した一方、投資有価証券の時価の下落等により投資その他の資産が△1,948 百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し 2,834 百万円増加し 53,827 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では未払法人税等が△708 百万円、賞与引当金が△1,190 百万円減少した一方、前受金などにより流動負債その他が 3,523 百万円増加いたしました。固定負債では長期借入金が 1,329 百万円増加いたしました。

非支配株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し 3,127 百万円増加し 139,251 百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が 6,252 百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の減少などにより、その他の包括利益累計額が△3,102 百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は 60.8%と前連結会計年度末と比較し△0.3%低下するとともに、1株当たり純資産は 947 円 08 銭と 25 円 40 銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期の見通し)

今後につきましては、前年同月比で減産を続けていた国内の自動車生産はプラスに転じたものの、力強さに欠ける状況で推移しております。また、中国経済の失速や原油価格の暴落などにより株式市況が大幅に下落するなど、景気の先行き懸念が高まるとともに、為替も変動幅が大きく不透明な状況となっております。

このような経済環境において当社グループでは、技術立社であることへの原点回帰をスローガンとして先進性と独創性に秀でた表面改質技術の開発を進めるとともに、海外への設備投資を積極的に進め、企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

通期の見通しにつきましては、開示時点(平成27年5月14日)の判断状況と比較して、アセアン地域の市場環境に厳しさが増しておりますが、現段階において数値に変更はありません。

【通期連結業績(平成28年3月期)の見通し】

(単位:百万円)

	平成28年3月期 (予想)	前期比	進捗率 (第3四半期)
売上高	110,000	7.3%	70.5%
営業利益	16,500	11.1%	69.5%
経常利益	18,500	6.0%	71.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,200	2.3%	79.9%

(通期予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,835	42,399
受取手形及び売掛金	32,675	33,650
有価証券	2,090	3,493
商品及び製品	2,334	2,279
仕掛品	3,880	4,908
原材料及び貯蔵品	4,551	4,431
その他	5,615	4,983
貸倒引当金	△169	△167
流動資産合計	89,812	95,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,393	17,200
土地	15,235	14,944
その他（純額）	19,281	20,802
有形固定資産合計	50,911	52,948
無形固定資産		
	1,616	1,322
投資その他の資産		
投資有価証券	32,376	30,717
その他	12,498	12,206
貸倒引当金	△99	△95
投資その他の資産合計	44,775	42,827
固定資産合計	97,303	97,098
資産合計	187,116	193,078
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,535	15,006
短期借入金	144	290
1年内返済予定の長期借入金	399	430
未払法人税等	1,888	1,179
賞与引当金	2,345	1,154
その他	12,397	15,920
流動負債合計	32,710	33,982
固定負債		
長期借入金	1,854	3,183
退職給付に係る負債	9,711	9,866
その他	6,716	6,794
固定負債合計	18,282	19,844
負債合計	50,992	53,827

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,913	3,912
利益剰余金	93,949	100,201
自己株式	△3,628	△3,629
株主資本合計	98,793	105,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,615	10,019
繰延ヘッジ損益	△3	13
為替換算調整勘定	4,910	2,389
退職給付に係る調整累計額	△29	△31
その他の包括利益累計額合計	15,492	12,390
非支配株主持分	21,836	21,816
純資産合計	136,123	139,251
負債純資産合計	187,116	193,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	71,448	77,555
売上原価	43,874	48,080
売上総利益	27,574	29,475
販売費及び一般管理費	16,743	18,003
営業利益	10,830	11,472
営業外収益		
受取利息	161	195
受取配当金	412	521
受取賃貸料	298	277
為替差益	331	-
持分法による投資利益	555	761
その他	379	481
営業外収益合計	2,138	2,236
営業外費用		
支払利息	12	29
為替差損	-	321
その他	177	207
営業外費用合計	190	558
経常利益	12,779	13,150
特別利益		
固定資産売却益	14	60
投資有価証券売却益	2	78
負ののれん発生益	74	-
補助金収入	39	-
特別利益合計	130	138
特別損失		
固定資産除却損	36	48
持分変動損失	90	-
固定資産圧縮損	41	-
環境対策費	-	68
その他	7	3
特別損失合計	176	120
税金等調整前四半期純利益	12,734	13,168
法人税等	3,767	3,644
四半期純利益	8,966	9,524
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,329	1,379
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,637	8,144

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	8,966	9,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,885	△621
繰延ヘッジ損益	△7	14
為替換算調整勘定	1,565	△3,687
退職給付に係る調整額	11	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	112	△96
その他の包括利益合計	4,567	△4,392
四半期包括利益	13,534	5,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,612	5,042
非支配株主に係る四半期包括利益	1,921	89

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	32,471	10,439	26,662	69,573	1,874	71,448	—	71,448
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	810	233	10	1,054	802	1,856	△1,856	—
計	33,281	10,673	26,673	70,628	2,676	73,304	△1,856	71,448
セグメント利益	6,581	213	4,534	11,329	175	11,504	△673	10,830

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△673百万円には、セグメント間取引消去281百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△955百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	32,877	13,020	28,771	74,669	2,885	77,555	—	77,555
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	810	163	2	976	794	1,770	△1,770	—
計	33,687	13,184	28,773	75,646	3,680	79,326	△1,770	77,555
セグメント利益	6,598	392	5,194	12,185	218	12,403	△931	11,472

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△931百万円には、セグメント間取引消去271百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,202百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、管理部門及び研究部門に係る費用の配賦方法を各セグメントの事業実態に合った合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移 (連結)

平成28年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	27年4月～27年6月	27年7月～27年9月	27年10月～27年12月	28年1月～28年3月	27年4月～28年3月
売上高	24,045	27,806	25,703		77,555
売上総利益	9,163	10,121	10,190		29,475
営業利益	3,252	4,044	4,174		11,472
経常利益	3,795	4,736	4,617		13,150
税金等調整前当期純利益	3,719	4,774	4,674		13,168
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,192	2,880	3,071		8,144
総資産	189,568	190,325	193,078		—
純資産	138,128	138,640	139,251		—

平成27年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	26年4月～26年6月	26年7月～26年9月	26年10月～26年12月	27年1月～27年3月	26年4月～27年3月
売上高	23,193	24,752	23,502	31,065	102,514
売上総利益	9,143	9,239	9,191	10,160	37,735
営業利益	3,722	3,652	3,455	4,019	14,850
経常利益	4,222	4,190	4,366	4,673	17,453
税金等調整前当期純利益	4,106	4,186	4,441	4,754	17,488
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,398	2,492	2,745	2,338	9,975
総資産	163,294	171,390	181,367	187,116	—
純資産	118,680	121,565	128,368	136,123	—

平成26年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	25年4月～25年6月	25年7月～25年9月	25年10月～25年12月	26年1月～26年3月	25年4月～26年3月
売上高	21,069	25,291	24,997	28,436	99,793
売上総利益	8,301	9,351	9,593	9,481	36,728
営業利益	3,177	4,037	4,250	3,927	15,393
経常利益	3,740	4,642	4,975	4,687	18,046
税金等調整前当期純利益	3,742	5,162	4,938	4,572	18,415
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,992	2,820	3,046	2,283	10,142
総資産	152,175	160,974	164,610	165,914	—
純資産	105,959	110,887	113,973	117,672	—

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失(△)			
		前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	20,457	19,833	△ 624	△3.1%	3,961	3,739	△ 221	△5.6%
	アジア	11,271	12,312	1,040	9.2%	2,184	2,364	179	8.2%
	欧米	742	732	△ 9	△1.3%	263	220	△ 42	△16.2%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	810	810	△ 0	△0.0%	171	273	102	59.6%
	計	33,281	33,687	406	1.2%	6,581	6,598	17	0.3%
装置 事業	日本	6,950	7,956	1,005	14.5%	118	80	△ 37	△31.9%
	アジア	3,488	5,059	1,570	45.0%	△ 33	173	206	618.5%
	欧米	—	5	5	—	—	△ 4	△ 4	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	233	163	△ 69	△29.9%	129	143	14	10.9%
	計	10,673	13,184	2,511	23.5%	213	392	178	83.6%
加工 事業	日本	16,524	16,535	10	0.1%	3,087	3,160	72	2.3%
	アジア	6,464	7,729	1,265	19.6%	881	1,302	421	47.9%
	欧米	3,673	4,506	832	22.7%	481	634	152	31.7%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	10	2	△ 7	△73.0%	83	96	13	16.2%
	計	26,673	28,773	2,100	7.9%	4,534	5,194	659	14.6%
報告セグメント計		70,628	75,646	5,018	7.1%	11,329	12,185	855	7.6%
その 他	日本	1,797	2,744	946	52.7%	115	161	46	39.8%
	アジア	77	141	64	82.6%	59	56	△ 2	△4.3%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	802	794	△ 7	△1.0%	0	0	△ 0	△100.0%
	計	2,676	3,680	1,003	37.5%	175	218	43	24.7%
合計		73,304	79,326	6,021	8.2%	11,504	12,403	899	7.8%
調整額		△ 1,856	△ 1,770	85	4.6%	△ 673	△ 931	△ 257	△38.3%
連結損益計算書計上額		71,448	77,555	6,106	8.5%	10,830	11,472	641	5.9%

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	48,862	49,845	982	2.0%	7,448	7,346	△ 102	△1.4%
アジア	21,331	25,307	3,976	18.6%	2,946	3,748	802	27.2%
欧米	4,417	5,245	827	18.7%	745	850	104	14.1%
合計	74,611	80,398	5,786	7.8%	11,140	11,944	804	7.2%
調整額	△ 3,163	△ 2,843	320	10.1%	△ 309	△ 472	△ 163	△52.8%
連結損益計算書計上額	71,448	77,555	6,106	8.5%	10,830	11,472	641	5.9%

(3) 四半期毎の業績の推移 (提出会社個別)

平成28年3月期 (提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	27年4月～27年6月	27年7月～27年9月	27年10月～27年12月	28年1月～28年3月	27年4月～28年3月
売上高	9,891	11,202	10,524		31,618
売上総利益	3,746	3,946	4,155		11,848
営業利益	1,068	1,246	1,458		3,773
経常利益	2,133	1,800	1,769		5,702
税金等調整前当期純利益	2,054	1,792	1,823		5,670
当期純利益	1,489	1,299	1,322		4,111
総資産	96,291	94,720	98,834		—
純資産	69,808	68,667	70,371		—

平成27年3月期 (提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	26年4月～26年6月	26年7月～26年9月	26年10月～26年12月	27年1月～27年3月	26年4月～27年3月
売上高	9,918	10,688	10,528	10,227	41,362
売上総利益	3,911	3,856	3,952	3,819	15,540
営業利益	1,323	1,200	1,296	1,124	4,945
経常利益	2,207	1,820	1,625	2,396	8,050
税金等調整前当期純利益	2,201	1,815	1,619	2,434	8,071
当期純利益	1,541	1,270	1,133	1,509	5,455
総資産	86,557	91,158	93,294	95,955	—
純資産	62,211	63,972	65,662	68,632	—

平成26年3月期 (提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	25年4月～25年6月	25年7月～25年9月	25年10月～25年12月	26年1月～26年3月	25年4月～26年3月
売上高	9,486	10,573	10,237	10,179	40,476
売上総利益	3,792	3,849	4,197	3,889	15,728
営業利益	1,263	1,290	1,590	1,193	5,338
経常利益	1,984	1,848	1,892	2,296	8,021
税金等調整前当期純利益	1,981	1,840	1,837	2,183	7,842
当期純利益	1,298	1,205	1,203	1,656	5,363
総資産	81,947	85,402	86,049	85,242	—
純資産	57,395	59,267	60,612	61,530	—